

# 富山県発明とくふう展内容説明書 (審査・展示用)

(第54回)

(1) 企業の部 (2) 一般の部

受付  
番号 51

ふりがな	でんどうしきてんじだこくき		
作品の名称	電動式点字打刻機		
ふりがな	かぶしきがいしゃふるんていあ	ふりがな	やなせてつお
会社名	株式会社フロンティア	発明者名	柳瀬哲夫
特許・実用・意匠 の出願状況	<input type="checkbox"/> 未出願	出願・公開番号	登録番号
	<input checked="" type="checkbox"/> 出願済み	特願 2010-160445 2012-97581 2014-51743	特許第 5243494 号
		外国特許他	

## 特徴と要点

### 1. 開発の背景

近年さまざまな業界でバリアフリー化の意識向上、普及拡大が進んでおり、ユニバーサルデザインの国内規模は年々増加している。又、障害者総合支援法に基づいて平成 25 年 4 月「障害者優先調達推進法」平成 28 年 4 月「障害者差別解消法」が相次いで施行され、障害者への対応が見直されてきている。しかし、現状の障害者施設では仕事量が不足しており、労働賃金が極端に低いという問題点がある。

### 2. 解決の手段

全国の官公庁及び民間企業の封筒に点字打刻する作業を障害者福祉施設で行うことが出来る卓上型電動式点字打刻機を国内で初めて開発した。

### 3. 特徴

市販されている打刻機は手動式のものしかなく、数量の多い封筒への打刻は作業者の疲労により打刻完了する位置までハンドルを下降せず打刻する為、不良が発生し、施設での活用に問題があった。電動式にする為の問題点は一定のストロークでの打刻を確実に繰り返す反面、様々な封筒の厚みの変化に対応出来ず電動化されていなかった。このたび開発した二層構造金型(特許取得済)は 14mm の金型治具に 2mm のクッション性のあるゴム板と 0.2mm のステンレス製型を貼り合せメス型にすることにより、封筒の厚みの変化にフレキシブルに自動調整が可能になったことにより電動化することが出来た。

### 4. 要点

- 1) 電動化により障害の度合に関係なく誰でも形状、高さが一定の点字打刻をすることが可能になった。又金型の交換は横よりスライド固定の為、取り替えが容易に出来る。
- 2) 二層構造金型はメス型 0.2mm オス型 0.3mm のステンレス製でオス、メス同時にサーボ専用機でプレス加工製作する為精度が良く、安価で、加工時間の短縮になった。
- 3) 金型の開発により打刻機本体も簡素化することが出来た。
- 4) 打刻機及び金型が消費税込みの 712,800 円で購入出来ることから公益信託基金の「社会福祉助成金」より全額助成された実績があり、施設での機器導入がしやすくなった。
- 5) 施設では、「社会福祉助成金」等を利用し打刻機を購入する為、官公庁等の発注者は打刻機の購入が不要になり、打刻費のみ予算化することにより対応がしやすくなった。
- 6) 施設での仕事量が確保出来、工賃アップ、自立支援に協力することが出来る。
- 7) 近年中には薬都富山イメージアップの為、薬パッケージへの点字打刻を予定している。

略図、図面、写真等で、簡単に特徴を記入して下さい。(※太枠内でご記入ください)

「より良いものを、より安く、より早く提供する」をモットーに社会貢献

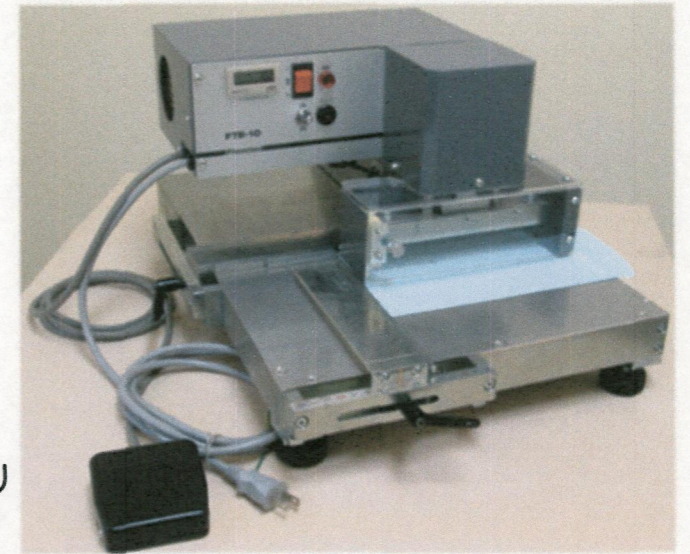
## 電動式点字打刻機 FTE-10 型

二層構造金型(特許取得済)

安全・安心、省エネ、静音

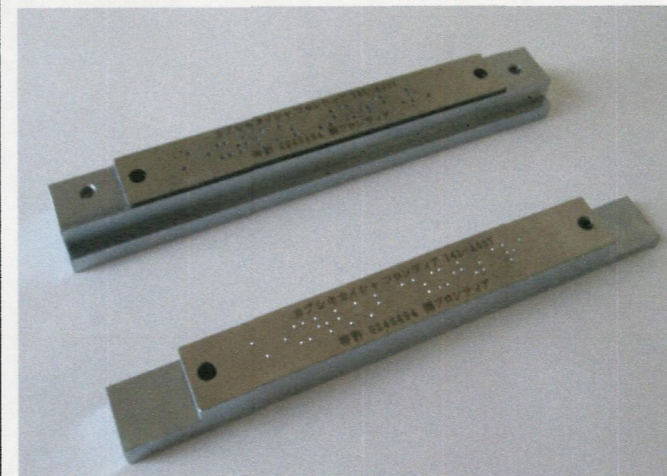
初心者でも確実に打刻

福祉作業所などでの納入実績あり

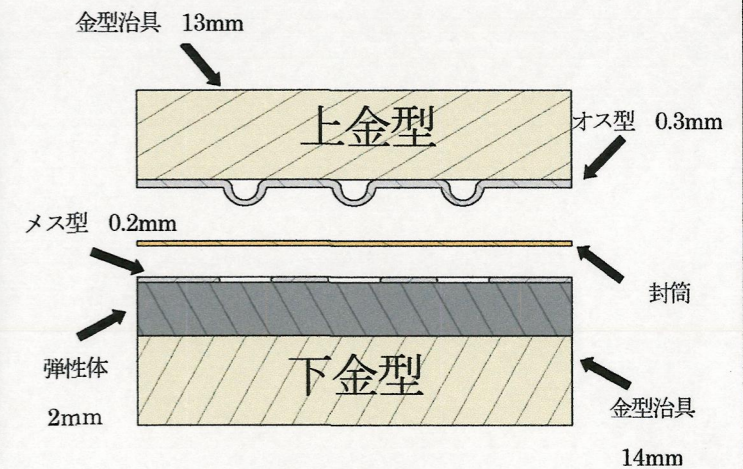


官公庁、民間企業の使用する封筒に係る点字打刻を障害者福祉施設で行う打刻機

### ■二層構造金型 参考画像



二層構造金型



二層構造金型構造図

- ・ ゴム状の弾性体が打刻物の厚みの変化にフレキシブルに対応する為、ストロークの微調整が不要になった。
- ・ 足踏みスイッチにすることにより、両手が使え作業能率が向上し楽しく作業が出来ると感謝の言葉をいただいた。
- ・ 障害者同士が協力し合うことに意義がある。

### 記載注意事項

1. 審査時は、この説明書が添付資料となりますので記載が不明確な場合は審査にもれることがあります。
2. 従来のも(或いは方法)に比し、どこを(何を)どのように発明・工夫したか、要点を判り易く、図を用いた方が判り易い場合は図面(略図でよい)でご説明下さい。
3. 改良くふう箇所が多くある場合、要点をしぼってご記入願います。